

皆様、『木原会クラブ』をご存知でしょうか？

木原会では歯の治療ばかりではなく、「歯も体の一部」という考えから、皆様に健康で快適な生活を送っていただけるよう、ライフサポートの一環として、平成16年4月に『木原会クラブ』を発足いたしました。『木原会クラブ』では、メンテナンスの年間割引や楽しいイベント開催などの特典をご用意しております。



この夏も、ヨットでクルージングしながら観る花火大会を2回開催し、ご参加いただきました皆様から大変ご好評をいただきました。次回は11月に血糖値を下げ、成人病予防に役立つ黒酢のクッキング教室(黒酢を使用したお料理のご提案)を開催いたします。ぜひ、皆様もご参加されませんか？詳細につきましては、スタッフが詳しくご説明させていただきます。お気軽にお尋ね下さい・・・。



社説

健康保険の原資は 国民の所得からのはずが・・・

近年、社会保険制度が大きく様変わりをした。本来の社会保険制度のコンセプトに回帰している。即ち「必要最小限度に留めた医療の提供」である。

社会保険制度は昭和36年に「国民皆保険」でスタートした。当時、日本は発展途上国であって、現代のような成熟社会ではなく、病気のありかたも異なっていた。昭和36年当時の病気のあり方は急性疾患が多く、怪我や痛み、大きく腫れた頬を押さえながら歯科医院の門をたたくといった具合で、治療も抜歯してその後義歯を入れて終わりという時代であった。

しかし、現代はそんな簡単ではなくなっている。病気の種類も慢性疾患が中心となり、自覚症状が表れない病気で患者様自身が病気で自覚しない病気がほとんどとなっている。その原因は生活習慣の結果であろう。急性疾患に対しての治療は保険で十分な対応が出来ているが、慢性疾患に対しての保険での対応が非常に手薄である。

医療技術は日々進化を遂げ、歯周病など慢性疾患で喪失した骨・粘膜、歯が再生治療でよみがえる時代を迎えたにも関わらず、保険制度の中ではまったく活用出来ない状況である。保険料を支払っている国民に対し、国民の利益につながらないのは、医療を提供する側として腹立たしさを禁じえない。本年10月から混合診療(保険と保険外の混合診療)が一部スタートする。高質の医療がこの制度で提供できることを期待したい。

医)木原会 理事長 木原和喜談



木原会の

なぜ・なぜ・何で？

● なぜ仮歯を入れるのでしょうか？ ●

当院では、治療計画をたてた時点で仮歯が必要かどうかを判断致します。最終的には使わなくなる仮歯をなぜ入れるのか？と疑問に思う方も多いかと思いますがそれには理由と目的があります。

- 1:治療するにあたって歯を削らざるを得ない場合の見目の確保(特に前歯)
- 2:しみるのを防ぐ(神経が生きている場合)
- 3:歯の移動の防止
- 4:食事の為の噛み合わせの確保
- 5:歯茎が盛り上がるのを防ぐ
- 6:動いている歯を固定させる為に複数の歯を仮の歯で固定する
- 7:最終的な被せ物のイメージを作る

この様に、仮歯には様々な利点があります。しかし、仮の歯はあくまで仮ですので、外れることもありますし、プラスチックで出来ている為割れやすく、水分を吸収し、変色する・磨耗するなど長期間の使用には向きません。



治療前



仮の歯



治療後



てくにしゃん・さいどⅡ



虫歯は治ったけど被せものが金属で口元がキラキラしていて、大きく口を開けることも出来ず笑う時も手で口を覆ってしまう・・・。そんなご経験はございませんか？現在の保険診療制度では、前から3番目までしか白い被せものをお作りすることが出来ません。口元を美しく見せるにはスマイルライン（前から5番目）までに白い被せものを入れると、治療の痕跡を残すことなく治せます。材質はセラミックを使用しますので、よりご自身の歯の色と同じようにお作りすることが出来ますから、美しい仕上がりになります。『てくにしゃん・さいどⅡ』では、セラミック冠がどのように作られているかをご紹介します。



シリコン材を使用し型を採ります



模型を作成し金属にてフレームを作ります



セラミック粉末を筆で盛っていきます



歯の特長をより再現するため16色の中から色を選び歯の形を作ります



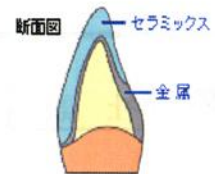
約800℃の釜で焼き上げていきます



ツヤ出しを塗って更に焼き上げます



かみ合わせの調整等を行いキレイに研磨して出来上がり



●健康こらむ●

たばこと健康

.....

現在、ニコチン依存症は疾病であるとの位置づけが確立され、禁煙指導に対して保険の中で「ニコチン依存管理料」という診療報酬が新設されています。この動きに対してJTでは、「保険適用は喫煙が病気として、喫煙者を病人として扱う事になる。アルコール依存症等と異なり何ら支障なく日常生活が送れる。喫煙のリスクを知った上で自らが判断し愉しむ合法的な嗜好品」と述べています。

たばこの煙に含まれる科学物質は4000種ほどで、43種類は動物にガンをつくるものとされています。大きな疾病ではないとしても、常に体への影響があることは明らかです。たばこの成分である一酸化炭素は、本来血液運搬をするヘモグロビンと結合し機能しなくなるため、酸素が上手く運ばれず常に貧血状態になり頭痛・息切れ・イライラ・疲れやすいなどの症状がみられる事もあります。その他にも、ニコチンは神経伝達物質であるアセチルコリンと構造が似ているため一時的な向精神物質となります。そのため、常に一定量のニコチンが血液中に存在しないと精神的に安定を保てなくなる場合があります。喫煙＝「悪」ではありませんが、健康・社会に与える影響の大きさをみると、個人の嗜好に留まらないのではないのでしょうか。

●栄養こらむ●

たばこ2本で1日に必要なビタミンCは失われます。また、皮膚・粘膜・免疫を健康な状態に維持したり、鉄分などの吸収にビタミンCは欠かせません。食事による積極的な摂取によってカバーしましょう。秋・冬旬の野菜にもビタミンがたっぷり！！丁寧に蒸した野菜は野菜本来の美味しさが引き立ち格別です。

秋・冬野菜の ほくほく サラダ



- ・ 豚肉
- ・ かぼちゃ
- ・ にんにく
- ・ オリーブ油
- ・ コショウ
- ・ ブロッコリー
- ・ にんじん
- ・ ねぎ
- ・ 塩